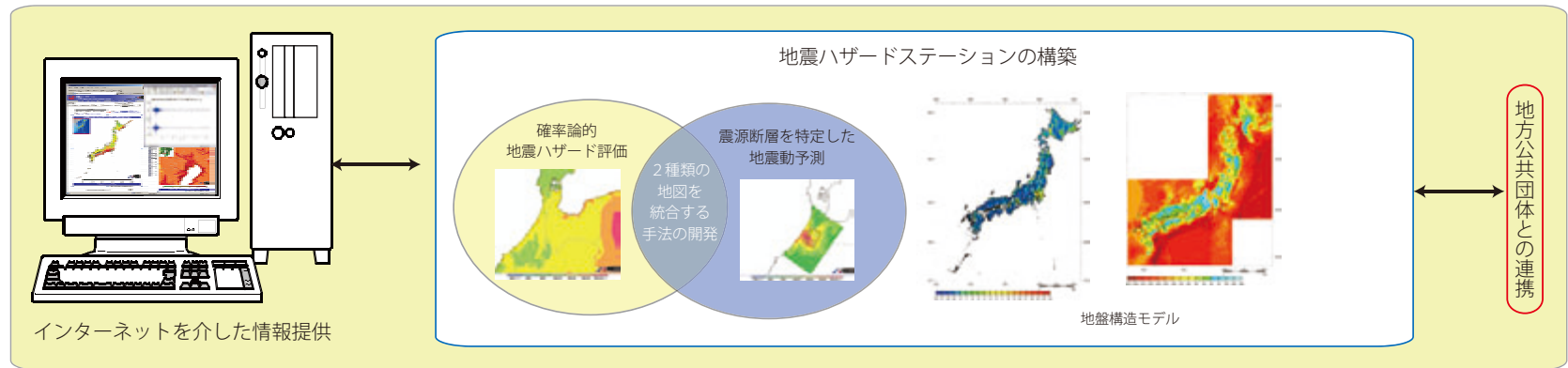


地震ハザード情報の統合化及び実用化

確率論的地震ハザード評価手法の信頼性を高めると同時に、確率論的地震ハザード評価と震源断層を特定した地震動予測を統合する手法を開発しています。これらの研究成果及び関連する情報については、インターネット等を通じて広く一般に発信するため地震ハザードステーション(J-SHIS)を構築しています。また、地方公共団体と連携して詳細な地震動予測地図の作成手法の開発を行い、代表的な地域において地方公共団体の防災行政への実用化のためのニーズに沿った試作版を作成します。



J-SHISの表示例
確率論的地震動予測地図

トップページ
(表示させたい地点の検索を行う)

↓

検索結果の表示

↓

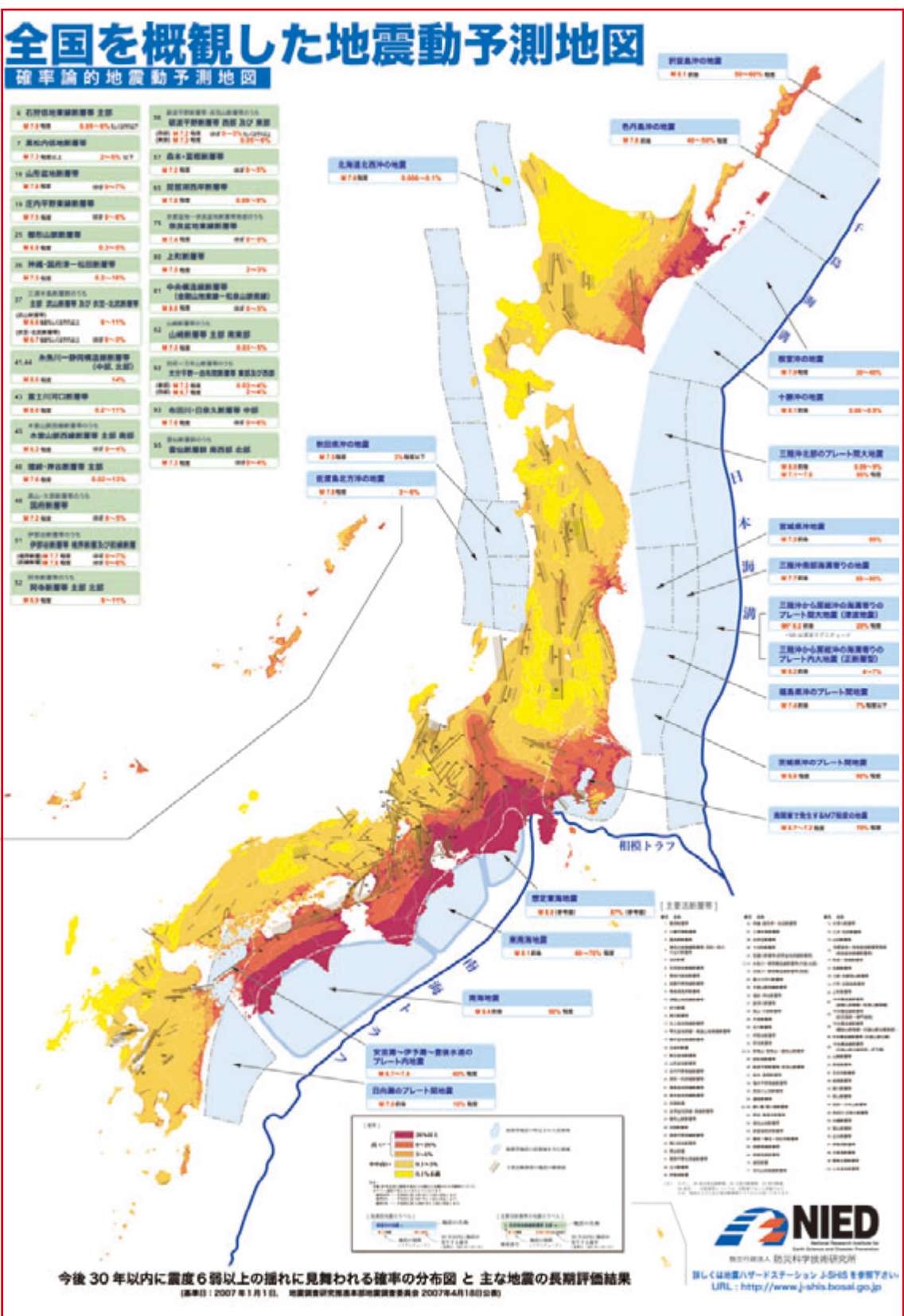
つくば市役所周辺の表示
(興味ある地域を拡大表示し、1キロメッシュ単位で評価結果を取得できる)

↓

ハザードカーブの表示
(ある地点の揺れの大きさとその超過確率の関係を曲線で表したもの)

↓

表層地盤増幅率の表示
(地表付近のごく浅い部分の揺れやすさを数値化したもの)



J-SHISの表示例
震源断層を特定した地震動予測地図

活断層の表示(全体)
↓ 拡大

断層とその詳細法の選択
↓

計算結果の表示
↓ 拡大

興味ある地域を拡大表示し1キロメッシュ単位で評価結果を取得できる

